地域協議会の活動を支援
4つのテーマで脱温暖化を啓発

脱温暖化センターひろしまでは、広島県内にある23の地球温暖化対策地域協議会（以下、地域協議会）の連絡会であるTEAMMATEひろしまの事務局を担っています。

毎年、地域協議会の活動支援に向けて、様々なテーマで活動をしています。今年度は昨年度に引き続き4つのテーマでグループ活動をしていますので、具体的な内容を紹介します。

1. クン炭拡大プロジェクト

稲作農家では、毎年、大量のもみ殻が出ます。このもみ殻を燃やしてしまうのではなく、クン炭にして土壌にすき込むことで、炭素を固定しようという取り組みです。

ドラム缶式クン炭機（右）とできあがったクン炭（上）

保温調理の実証実験でのカレー作り（下）と鍋に毛布を巻いて保温時間を測定（右下）

今年度も4つの地域協議会が参加してクン炭作成の取り組みを始めています。今年度は、新型コロナもあり、都市部でもできる家庭菜園が注目されています。この菜園での利用者を増やしていくことで、クン炭利用の拡大と脱温暖化の周知を進めていきます。

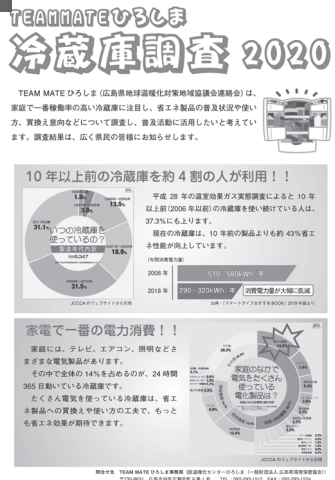
2. エコクッキング

毎日の食生活の買い物、調理、食事、片付けを通じて環境問題を考える取り組みです。その中から、グループ活動では、特に保温調理による省エネ効果の検証に取り組んできました。昨年度の結果をもとにして、今年度は具体的な学習方法の進め方を考えています。そこで、各地域協議会で実施している調理教室などのプログラムをマニュアル化し、それを実践し改善することで、他の地域協議会への普及につなげていきます。

3. 冷蔵庫調査

各家庭で電力を一番に消費している冷蔵庫に着目して、製品情報、利用方法を調べる活動を昨年度からスタートしました。自宅で使っている冷蔵庫に関心をもってもらい、使い方を見直すとともに、必要に応じて買換えを考えるきっかけづくりがねらいです。

今年度は、調査協力者を拡大するとともに、消費電力を測定するワットアワーメーターを用いて、実際の電力量とメーカーの想定する電力量を比較して、自宅の冷蔵庫の利用方法を見直していただく方を増やして、冷蔵庫の利用状況をまとめます。



冷蔵庫調査の調査用紙（上）と光熱費節約大作戦!のマニュアル（左）

4. 光熱費節約大作戦!

各家庭の省エネや消費電力の削減につながる取り組みと実際の消費電力を関連づけて、3カ月の電気使用量を集め、省エネの実践事例の紹介につなげる活動に取り組んでいます。

今年度は、公衛協が昨年まで取り組んだ1万人のエコチェック事業が終了したので、公衛協にも参加を呼び掛けています。より多くのデータが集まり、平均的電力消費や実践事例が集積されて、今後の省エネ対策の一助になるよう活動しています。

◇　◇

7月に開催したそれぞれのグループミーティングでは、新型コロナにより住民への周知の難しさがあると、各地域協議会から意見が寄せられました。そのような中でも、役立つ情報を県民の皆さまに届けるべく、活動を進めていきたいと考えています。

今年もうちエコ診断で省エネを
コロナ禍に対応した診断を実施

『うちエコ診断』は、うちエコ診断士が環境省の専用ソフトを使って、ご家庭のライフスタイルに合わせた具体的な省エネ・省CO_2対策をアドバイスするものです。

今年度は、新型コロナ対策にある3密を避けるために、従来までの並んでパソコン画面を見ながらの診断を行わず、診断士と受診者の間に仕切りを設けて、別の画面に表示するなどの対策を行っています。

今年度も各種イベント、研修会などで『うちエコ診断会』の実施をお願いしていますが、これまでに実施した2件について報告します。

6月28日に府中市元町地区地球温暖化対策地域協議会の主催で実施した会場では、地元住民13人に受診していただきました。

診断を受けていただいたほとんどの方が、今のライフスタイルを少しだけ「エコ」に変える「ちょいエコ」を目標とされました。

省エネなどの対策は、シャワーを1人1分短縮する、節水型シャワーヘッドに取り替える、湯船に張るお湯の量を半身浴程度にする、省エネ型冷蔵庫への買換えを検討するなどです。

自分の体調やライフスタイルに合わせて、できることを無理なく実践することが、持続できるポイントです。

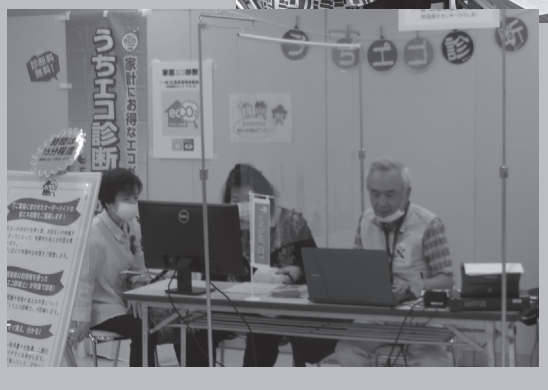
8月5日・6日には、そごう広島店で「ひろしまの暮らしの中のSDGs」と題した広島で活動するNPO法人が主催したイベントがありました。広島の木材を使った加工品や折り鶴を再生した和紙など17の目標に沿った各種の展示があり、その中で当協会は診断会を実施し、各日とも13人に受診していただきました。

季節による光熱費の変動が気になる受診者へは、診断士が冷暖房の状況を詳しく聞き取り、改善できそうなことを提案しました。

また、省エネに熱心で色々な対策を既に実践されている受診者の方は、第三者の評価を聞きたくて受診されていました。

初めて診断を受けたたこ職人の松本晃一さんは、「お風呂の入り方や、元がとれる省エネ対策をアドバイスしていただき参考になった。車の所持台数を2台から1台に減らした方が環境にやさしいのかなと思っていたが、今回診断士にアドバイスを頂き、自分の考えは間違っていなかったことが分かり、受診してよかった」と感想を述べられました。

診断は一人20分程度、もちろん無料で、診断を受けていただいた方には粗品をプレゼントします。お近くで診断会が開催される際は、診断を受けてみてください。



コロナ対策で府中市（上）、そごう（左）ともに、カーテンとモニターを使って実施

オンラインでうちエコ診断

うちエコ診断は、昨年度、各市町での環境、健康イベントなどに参加させてもらい多くの人たちに受診していただきました。

今年度は、コロナ禍により、各地のイベントがほとんど中止となっています。

今年度は、従来の診断に加えて、ZOOMなどのオンラインによる診断も始まりましたので、受診を希望される方は、直接ご連絡いただくか、ネットでお申し込みください。